

## イジェウク次官がアフリカ豚コレラ侵入防止のため金浦空港における検疫状況点検

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbwWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMTMwNCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTl2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3cIM0QxMCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

□イジェウク農林畜産食品部次官は9月10日、アフリカ豚コレラ(ASF)の侵入を防止するため、金浦空港を訪問し、水際検疫の実施状況を確認し、海外旅行者が違法に畜産物を持ち込まないよう広報キャンペーンを実施した。

○昨年8月以来中国・モンゴル・ベトナム・カンボジア等のアジア地域でASFが継続して拡散しており、9月9日にはフィリピンでも発生が確認され、韓国国内へのASF侵入リスクが高まっている。

- 秋夕(チュソク:韓国の祝日)前後、海外旅行者が増加すると予想されるため、ASF発生国への旅行者を対象に、韓国へ帰国する時に畜産物を持ち込まないよう広報し、空港で徹底した検査・検疫が行われるよう促すことが今回の点検の目的である。

□イジェウク次官は、現場を確認しながら、「ASFの侵入を防ぐためには、空港における海外旅行者に対する徹底した携帯品検査・違法畜産物の持ち込み阻止が重要である」と改めて強調し、広報も含めた水際対策を徹底するよう要請した。

○併せて、国境で国を守り抜くという誇りと信念を持って検疫業務に最善を尽くすよう、金浦空港の検疫官と関連機関の関係者に呼び掛け、労苦を称えた。